

タイ遊記 2-1

－ 歓喜・乾季・寒気の正月のカオヤイ国立公園－

毎年一度はタイ・カオヤイ国立公園(KYNP)へ出かける事を旨としていたが、2008年はどうとう、行くことができなかった。

本当は08年の年末に予定していたのだが、何やかやで、年を越すことになってしまった。結果的にはそれが幸いした。

昨年12月初頭、タイの政情は芳しくなく、反タクシン派の民主連合(PAD)によってタイ国際空港(スワンナプーム)が占拠された事件は記憶に新しい。選挙には占拠でと、あまり民主的ではない手続きで内閣を崩壊させたのだが、その後も政情不安は続いている。(おかげで首相府の近くにある動物園には行かれなかった。)

現地の人によれば、色々あるけど何とかなるのよ。とにかくマイペンライ(気にしない)なのだ。そんな状況の中、私たち無軌道派は勇躍バンコクへと飛んだ。

小さなジェット機で。

< ついでの話 >

バンコクへの直行便が広島空港から出ているとは驚きだが、これはマツダ(自動車メーカー)の出張用路線である。開設当初からしばらくは週4便飛んでいたが、最近では月・金の週二便に減便されてしまった。この先、景気回復が思わしくなければ早晚、廃止となりそうだ。



閑話休題

エアバス 320 型ジェット機は 150 席ほどの小さな飛行機である、にも拘わらず、一番遠くまで行くのである。

飛行時間約 6 時間。

この日はビデオディスプレイも故障で使用不能、機内食の質は回を重ねるごとに低下。

なんと趣のある旅である事よ。

就航当時は、実に力が入っていて、機内はすでにタイの雰囲気は充滿していた。

BGM、香り、食事、どれをとってもタイを感じさせたものだ。今は、ただの田舎の、というかダサイだけの、寂れた雰囲気が 充滿している。

CAもあまりやる気がなさそうだ。

次回からは、福岡か関空あたりからシンガポール航空にしようかとも考えている。

とにかく、1月2日10時過ぎに無事広島空港を離陸した。

眼下の山にはうっすらと雪が積もっている。とすぐに雲の上にて、下界の景色は見えなくなった。



一眠りして、ふと窓外に目をやると、右手に台湾島が目飛び込んできた。山の頂は雪に覆われている。やがて台湾島を過ぎると、再び東シナ海上空を南西に飛ぶ。というわけで何もすることもないのでひたすら寝入ることに。

何しろ、下界は雲に阻まれて見えないのだから、寝るしかない。おまけに、加圧をけるから酸素濃度が低下し、眠くなるのだ。設備不良をカバーするには客を眠らせる

しかないということのだろう。

満席と聞いていたが、かなり空席も目立つ。この路線も長いことないような予感が漂う。

暇なものだから時計の針を2時間遅らせ、タイ時間に。

14時10分 スワンナプーム空港に着陸。

機外に出ると、むっとした暑さと匂いが、何となく懐かしい。

入国審査もドンムアン空港の時代に比べ、かなりスムーズだ。でも、だだっ広くて、趣にかけるきらいがある。

なんだかんだで3時を過ぎた頃、出迎えの友人と出会う。

挨拶もそこそこに、チャーターしておいた車で、いざKYNPへ!!。

と、その前に、必要品の買い出しが待っている。カオヤイ国立公園へむかう途中のサラブリという町で6日分の朝食と飲み物、生活用品を買い込む。

タイでは、イギリス資本のTESCOが幅をきかせており、各地に大きなショッピングセンターができています。

さすがに正月だけあって、店内は大変混雑している。大きなショッピングカートに商品を満載して、いざ会計。

驚くほど安い。

午後5時30分、外はすでに薄暗くなってきた。

このペースで行くと、KYNP到着は8時近くになりそうだ。

車はひたすら走る。

対向車線は行楽帰りの車で渋滞気味。街道沿いのフルーツマーケットの明かりがうれしい。予定通りの時間経過で、KYNPにチェックイン。

来てみてビックリ。車車車あわせて轟き、驚き。
駐車場は車であふれている。
なんと日本の行楽地並の混雑ではないか!!!!



正月に来たのが間違いだったのか。

宿舎の前も車とテントだらけ。

この度の宿舎は、10 部屋が連なる長屋形式
のコテージ(写真下)で 裏に川・森、前方には
草原が広がるという魅力的な位置にあるのだ
が、これでは、野生動物の観察は無理???. まあ、しかし明日一日の辛抱だろう。

マイペンライ・マイペンライ。今日は早めにお休みなさい。

いつの間にか、空気は冷たく感じるほどに。ああ、いい気持ち!

グッド・ナイト。

さて、この続きはどうなる事やら。

そのお噂は、後日に。



人気も車もなくなり、普段のカオヤイの静けさを取り戻した。